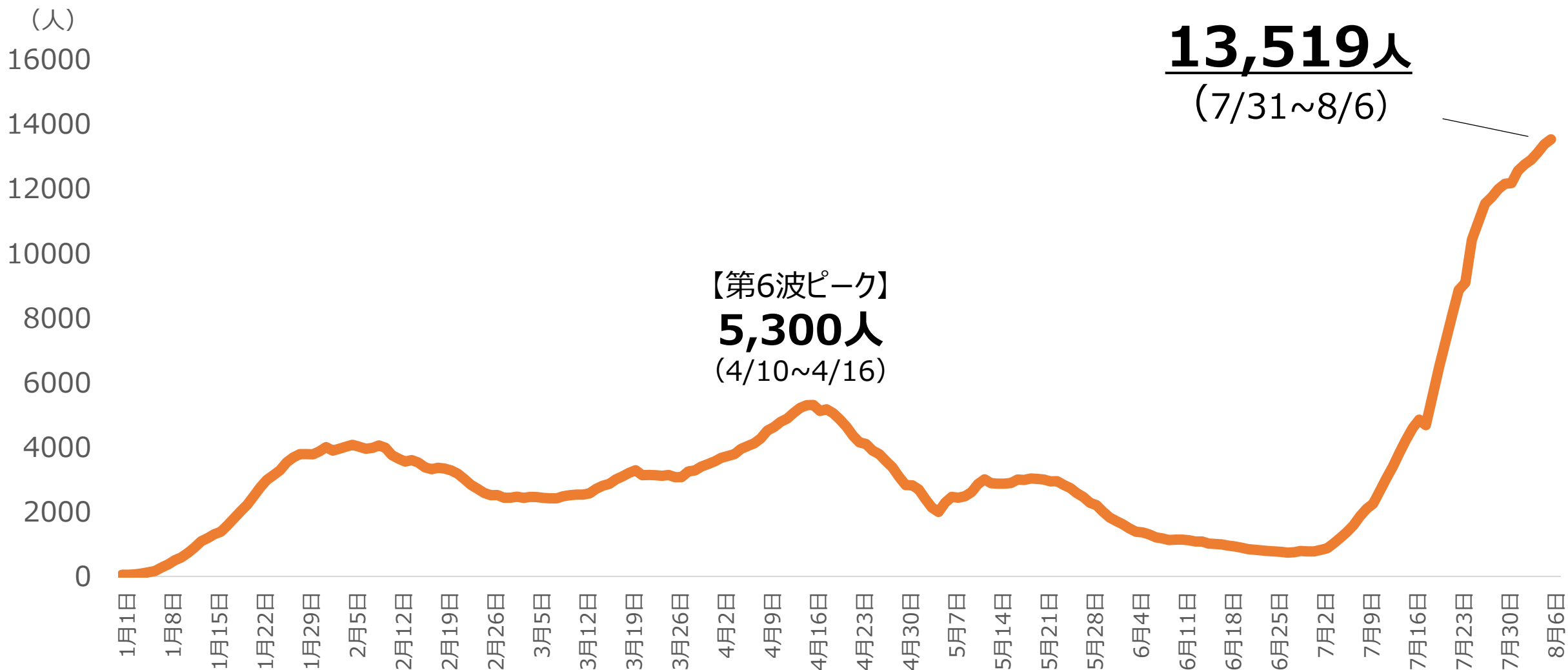


8月8日（月） 知事会見

全県に「医療非常事態宣言」を発出します

直近1週間の新規陽性者数の推移 (R4.1~)

感染力の強いBA.5系統による感染拡大で陽性者が急増、過去最多を連日更新

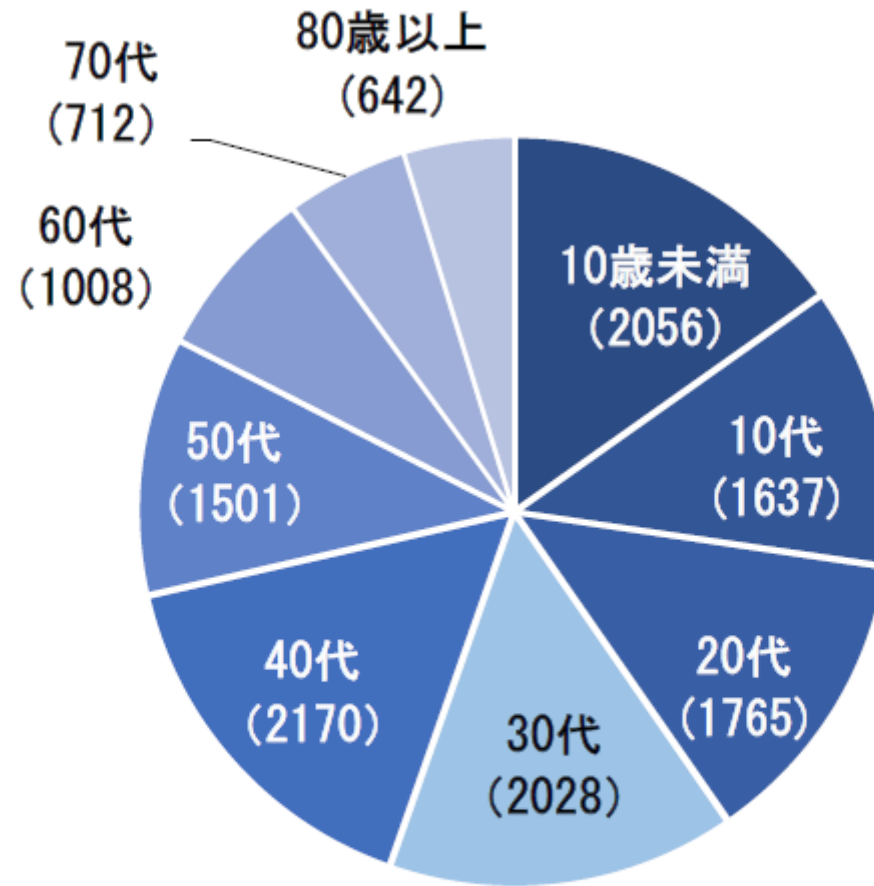


* 新規陽性者数は発生届受理日ベース 2

年代別の新規陽性者数

高齢者や子どもだけでなく、全ての年代で陽性者が発生

8/6 (土) 20:00現在



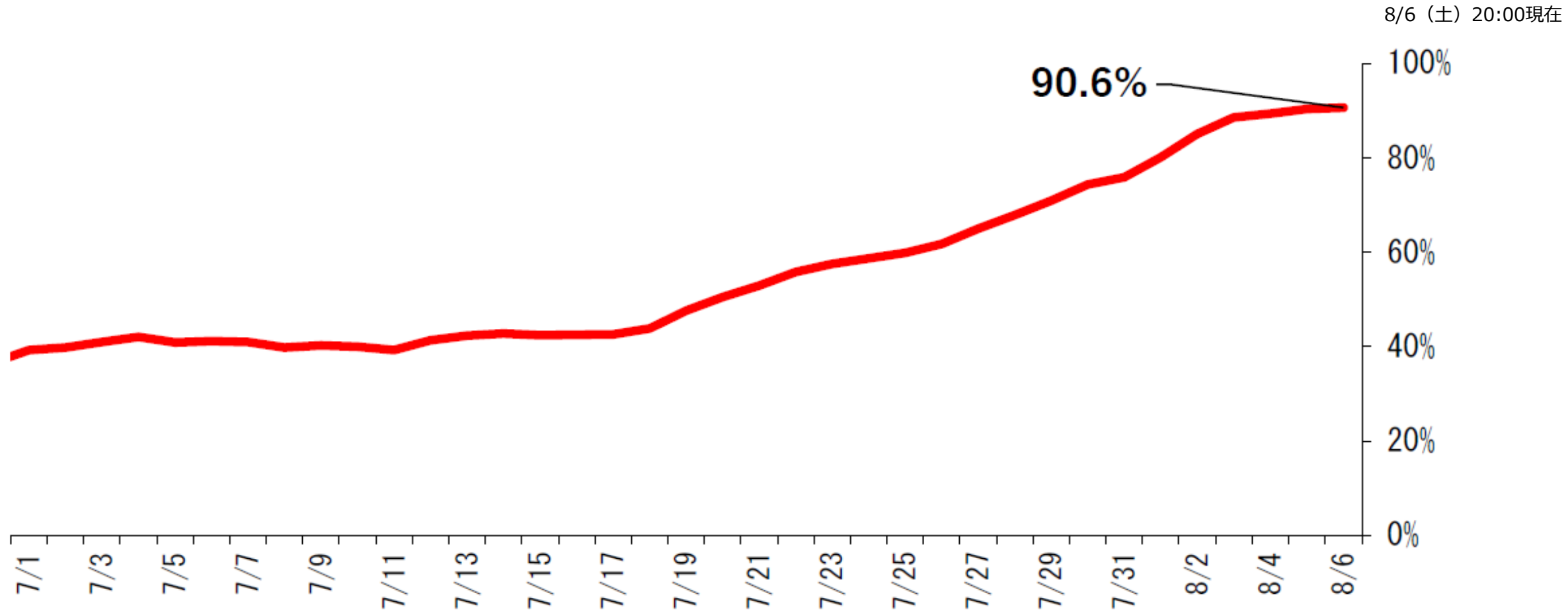
65歳以上1797例(13.3%)

10代以下3693例(27.3%)

N=13,519

感染経路不明率の推移

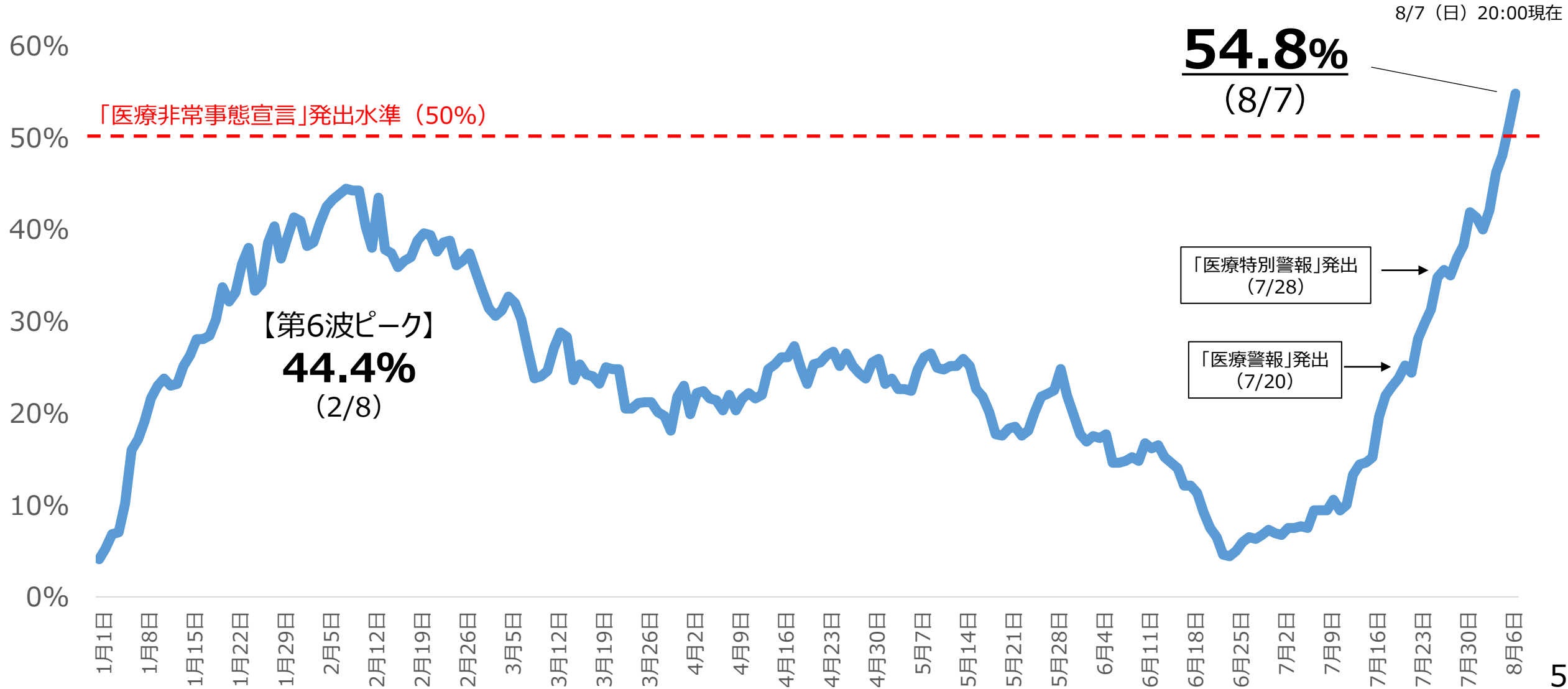
感染経路不明率は9割を超える状況



※不明率・・・7日間の移動平均により算出【過去7日間の感染経路不明者数／過去7日間の陽性者数(調査中の者を除く)】

確保病床使用率の推移 (R4.1~)

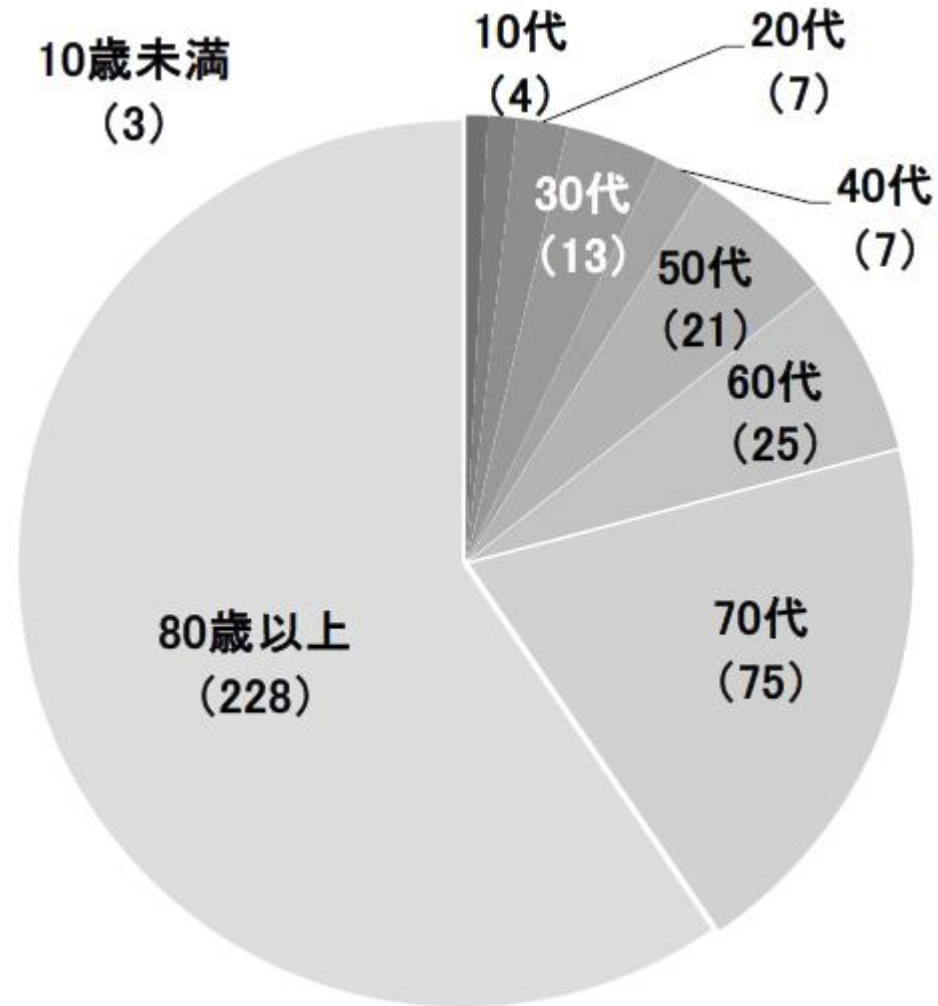
「医療非常事態宣言」発出水準の50%を超過



入院者の年代

入院者全体のうち、65歳以上が82.5%（316例）を占める

8/6（土）20:00現在

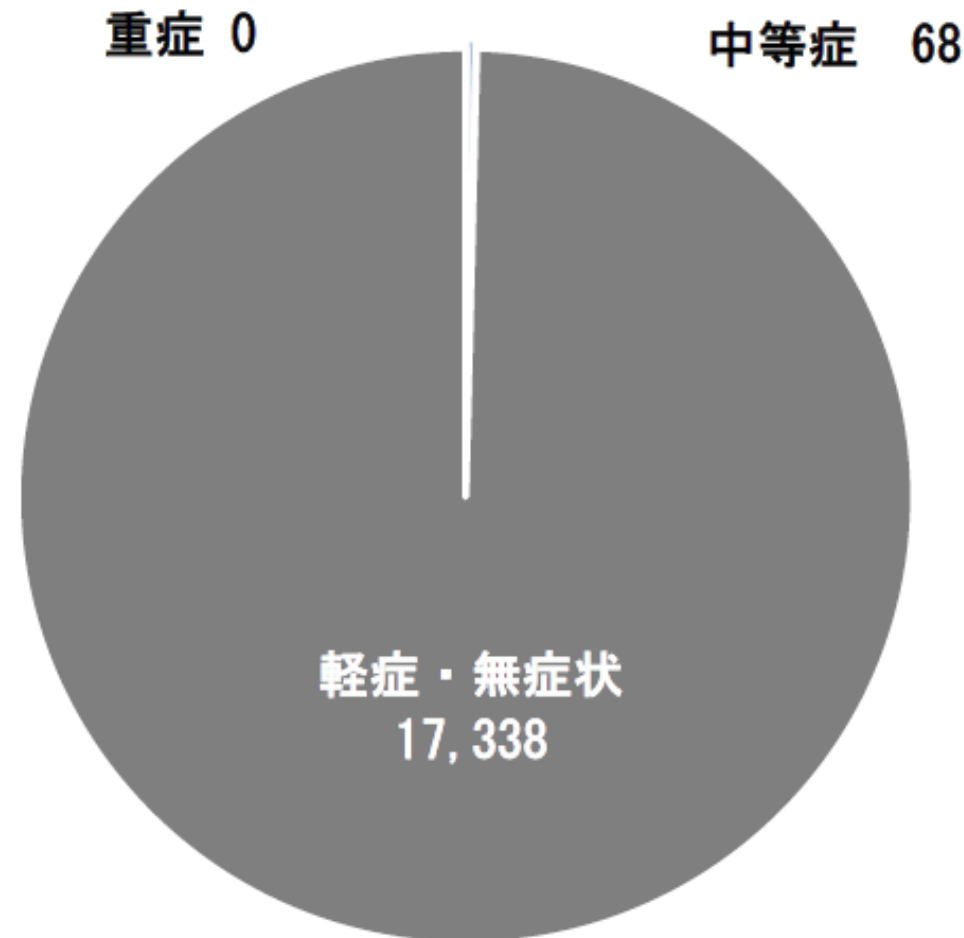


N=383

療養者の重症度

療養者は1万7千人を超えてこれまでにない規模になっているが、現時点では重症者はいない

8/6 (土) 20:00現在



N=17,406

現状認識

医療のひっ迫が懸念される状況

- オミクロン株BA.5系統による感染拡大が継続しており、本県も含め、全国的にこれまでで最も高い感染水準
- 医療特別警報（7/28）発出後も、診療・検査医療機関においては、当日の来院を断らざるを得ない、電話がつながりにくい、患者が殺到するなどの事例が増加しており、休日に限らず外来受診までに時間を要する状況が継続
- 療養中の方は1万7千人を超えてこれまでにない規模、昨日（8/7）時点の確保病床使用率は54.8%と、医療への負荷が増大
- お盆の人の動きに伴う影響も見込まれる

このため、

全県に「医療非常事態宣言」を発出し、

全ての圏域の感染警戒レベルを「6」に引き上げます

目標

- 皆様の命を守るため
 - ① 確保病床使用率を50%未満に引き下げる
 - ② 外来診療の負荷をできるだけ抑える
- 暮らしと経済をできるだけ維持するため
 - ③ 社会経済活動への影響を最小限とする

県としての対策

※「全県に『医療非常事態宣言』を発出します」（令和4年8月8日新型コロナウイルス感染症長野県対策本部）の「4 県としての対策」参照

1 病床使用率の抑制

- ① ワクチン接種の一層の促進
- ② 早期転院・退院の促進
- ③ 高齢者施設等における感染拡大防止
- ④ 宿泊療養施設入所基準の切替え

2 外来診療の負担軽減

- ① 自宅での健康観察の検討依頼
- ② 自己検査の活用促進
- ③ 若年軽症者登録センターの設置
- ④ 診療・検査医療機関等を増やすための要請
- ⑤ 「みなし陽性（臨床診断）」の導入
- ⑥ 受診・相談センターの拡充
- ⑦ 事業所等への要請

県民の皆様等へのお願い

※「全県に『医療非常事態宣言』を発出します」（令和4年8月8日新型コロナウイルス感染症長野県対策本部）の「5 県民の皆様等へのお願い」参照

県民・事業者の皆様及び本県に滞在中の皆様へ

「『医療非常事態宣言』発出に伴うお願い」にご協力いただきますようお願いいたします

※以下のお願いにも引き続きご協力ください

- ・ 「新型コロナ第7波における県民の皆様へのお願い」（令和4年7月20日）
- ・ 「お盆を迎えるにあたってのお願い」（令和4年8月5日）

ワクチン追加接種が可能な方へ

追加接種により、感染・重症化予防効果が得られますので、
速やかにワクチン追加接種をご検討いただくようお願いいたします